

## 第3次横手市総合計画の将来像について

市民委員、関係団体委員、課長級職員で構成する「総合計画策定委員会」の各分野部会で事務局のたたき台を基に将来像の検討を実施し、部会毎に素案を作成した。

## 【各部会の将来像（素案）】

健康福祉	案1 未来に向けて希望の種をまき 笑顔が咲き続けるまち よこて
教育文化	案2 みんなで希望を創造し 発展し続ける わたしたちのまち よこて
生活環境	案3 人と地域に誇りが育ち 笑顔が咲き続けるまち よこて
産業振興	案4 希望ある未来を創造し 次代の道が 発展し続けるまち よこて
建設交通	案5 希望と未来を創造し 誇りが育つ わたしたちのまち よこて
市民協働	案6 暮らしがつながり、誇りを育む、わたしたちのまち よこて 案7 人と暮らしがつながり、誇りを育む、私たちのまちよこて 案8 暮らしがつながる、誇りと希望が育つ、わたしたちのまちよこて 案9 暮らしがつながる、誇りが続く（広がる）、わたしたちのまち よこて
行政経営	案10 人がつながり支え合う 笑顔あふれるふるさと よこて 案11 笑顔咲き 希望あふれる 田園都市 よこて

【健康福祉部会】

<p>将来像 (案)</p>	<p><b>未来に向けて希望の種をまき 笑顔が咲き続けるまち よこて</b></p>
	<p>私たちのまちには、四季折々の恵み豊かな自然と、雪と共に暮らしてきた先人達の知恵が息づいています。この大切に受け継がれてきた文化や暮らしを誇りに思いながら、一方では新しい地域の価値を創造し、次の世代へとつないでいくことが必要です。</p> <p>市民一人一人が今まで以上に主体的にまちづくりに関わることで、地域に愛着と誇りが生まれ、暮らしの中で「つながり」が広がり、誰もが安心して笑顔で暮らせる地域を育むことができます。さらに、魅力ある地域資源を活用し、新たな人流（人々との交流）をも生み出しながら、このまちの輝きを未来へと広げていくことが重要です。</p> <p>私たちはこれからも新しい種をまき続け、笑顔が咲き続ける横手市を目指していきます。</p>

【教育文化部会】

<p>将来像 (案)</p>	<p><b>みんなで希望を創造し 発展し続ける わたしたちのまち よこて</b></p>
	<p>横手市では、これまで第1次総合計画の将来像である「豊かな自然 豊かな心 夢あふれる田園都市」を、第2次総合計画では「みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて」を目指し、まちづくりに取り組んできました。</p> <p>第2次総合計画の期間中は、世界規模の感染症拡大、国際情勢の変化による物価高騰、毎年のように続く大規模災害など10年前には想定できなかった事が、全国規模、世界規模で発生しました。</p> <p>また、人口減少や少子高齢化を要因とする人口構造の変化や社会ニーズも多様化し、横手市を取り巻く環境に大きな変化が生じています。</p> <p>このような状況下においても、市民一人一人が希望と生きがいをもち続け、安心して暮らすことのできるまちづくりが必要です。</p> <p>美しい自然と田園風景、やさしさの溢れる温かい人々や多くの伝統文化、こどもが伸び伸びと学べる教育環境など、全国に誇れる「よこて色」を守り、人口減少社会に対応しつつ、横手市から人口増加社会を創り上げていく気概をもち、市民一人一人がいきいきと暮らし続けられるまちを目指します。</p>

【生活環境部会】

<p>将来像 (案)</p>	<p>人と地域に誇りが育ち 笑顔が咲き続けるまち よこて</p>
	<p>横手市では、これまで第1次総合計画の将来像である「豊かな自然 豊かな心 夢あふれる田園都市」を、第2次総合計画では「みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて」を目指し、まちづくりに取り組んできました。</p> <p>第2次総合計画の期間中は、世界規模の感染症拡大、国際情勢の変化による物価高騰、毎年のように続く大規模災害など10年前には想定できなかった事が、全国規模、世界規模で発生しました。</p> <p>また、人口減少や少子高齢化を要因とする人口構造の変化や社会ニーズの多様化などにより、横手市を取り巻く環境にも大きな変化が生じています。</p> <p>このような状況のなか、市民一人ひとりが希望と生きがいを持ち続ける取り組み、地域資源を活かしこの土地に誇りを持てる取り組み、雪国としての知恵や自然の美しさと農林業の技術を守る取り組み、循環型の経済を推進する取り組みなどをすすめることにより、持続可能で独自の魅力を持ったまちが形成されます。</p> <p>市民が「この地域に住んでよかった」と感じ、誇りを持ち笑顔が咲き続けるまちに育つことにより、未来への希望を持ち、「わたしのまち」として築かれていくことを目指します。</p>

【産業振興部会】

<p>将来像 (案)</p>	<p>希望ある未来を創造し 次代の道が 発展し続けるまち よこて</p>
	<p>昨今は世界規模の感染症拡大、国際情勢の変化による物価高騰、毎年のように続く大規模災害など以前には想定できなかった事が、全国規模、世界規模で発生する状況となっています。</p> <p>また、急速に進む人口減少や少子高齢化を要因とする人口構造の変化、社会ニーズの多様化など、横手市を取り巻く環境に大きな変化が生じています。</p> <p>このような状況下においても市民一人一人が未来に向けて希望と生きがいを持ち続け、地域の持続可能な発展を促進するためには、環境の変化に対応した創造的なまちづくりの推進が必要です。</p> <p>美しい自然と田園風景、やさしさ溢れる心温かい人々や多くの伝統文化、子ども達が伸び伸びと学べる教育環境など、全国に誇れる「よこてらしさ」を守りつつ、希望ある未来を創造しながら、多様な世代や人々が支えあい、共に発展し続けるまちを目指します。</p>

【建設交通部会】

<p>将来像 (案)</p>	<p>希望と未来を創造し 誇りが育つ わたしたちのまち よこて</p>
	<p>横手市では、これまで第1次総合計画の将来像である「豊かな自然 豊かな心 夢あふれる田園都市」を、第2次総合計画では「みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて」を目指し、まちづくりに取り組んできました。</p> <p>第2次総合計画の期間中は、世界規模の感染症拡大、国際情勢の変化による物価高騰、毎年のように続く大規模災害など10年前には想定できなかった事が、全国規模、世界規模で発生しました。</p> <p>また、人口減少や少子高齢化を要因とする人口構造の変化や社会ニーズも多様化し、横手市を取り巻く環境に大きな変化が生じています。</p> <p>このような状況下においても、わたしたちが希望と生きがいをもち続け、安心して暮らすことのできるまちづくりが必要です。</p> <p>地域資源を活かし、雪国としての知恵や農林業をはじめ様々な産業の技術を継承しながら、循環型の経済を推進することで、持続可能で独自の魅力を持った地域が形成されることが理想です。</p> <p>美しい自然と田園風景、やさしさの溢れる温かい人々や多くの伝統文化、こどもが伸び伸びと学べる教育環境など、全国に誇れる「よこて色」を守り育て、誰もがいきいきと暮らし続けられるまちを目指します。</p>

【市民協働部会】

<p>将来像 (案)</p>	<p>部会案① 暮らしがつながり、誇りを育む、わたしたちのまち よこて</p> <p>部会案② 人と暮らしがつながり、誇りを育む、私たちのまちよこて</p> <p>部会案③ 暮らしがつながる、誇りと希望が育つ、わたしたちのまち よこて</p> <p>部会案④ 暮らしがつながる、誇りが続く(広がる)、わたしたちのまち よこて</p>
	<p>このまちの将来像には、地域の自然や文化、人々のつながり、そして将来への希望が込められています。将来像を描くにあたり、「自然との共生」「雪と生きる知恵」「世代をつなぐ農村コミュニティ」「健康と長寿」「地域資源を活かす循環型経済」をテーマとし、どれも一貫して、地域に根ざした生活の「つながり」や「誇り」に基づくものととらえています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「暮らしがつながる」には、多様な世代や人々が支え合い、共に発展する街を目指す思いを込めています。高齢者も若者も移住者も、皆が集い、地域の歴史や文化、産業の技術や知恵が、次世代へと継承されていく。季節の恵みや自然環境に感謝しながら、住民が地域の豊かさを一緒に育んでいく様子をイメージしています。</li> <li>・「誇りが育つ(誇りを育む)」には、地域資源を活かし、住民がその土地に誇りを持てる取り組みが進む未来像を表しています。雪国としての知恵や自然の美しさ、地域に根差した産業の技術を守り、循環型の経済を推進することで、持続可能で独自の魅力を持った地域が形成されることを目指します。住民たちが「この地域に住んでよかった」と感じ、ふるさとに誇りを持てることが理想です。</li> <li>・「わたしたちのまち」では、住民一人ひとりが、この街を「自分のまち(ふるさと)」として愛着を持つことを意識しています。年齢も職業も違う人々が互いを尊重し、共に未来を創り上げる姿勢を大切にする。この言葉が、地域のすべての人がふるさとを誇れることを目指す心を表しています。</li> </ul>

【行政経営部会】

<p>将来像 (案)</p>	<p>候補1「人がつながり支え合う 笑顔あふれるふるさと よこて」 候補2「笑顔咲き 希望あふれる 田園都市 よこて」</p>
	<p>◆検討の際の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンプルでコンパクトである方がいい。</li> <li>・AI や IT が加速する中においても、人と人がつながりをもてるような姿が望ましい。</li> <li>・「田園都市」の表現については、都市と田園のいいところの両方を指すという意味でいいと思う。</li> <li>・10年後、子どもが住みたい、戻ってきたいと思えるようなまちであってほしい。</li> <li>・災害などが続く中で、安心して暮らせるまちであってほしい。</li> <li>・「笑顔」という言葉は、充実感や幸福感など様々な感情を表現でき、効果的なので、ぜひ使いたい。</li> <li>・「都市」という言葉は、近未来的なイメージもあり、デジタル社会もイメージできる。</li> <li>・人口減少には抗えない面もあるが、当市は大型公共施設整備など、周囲から人を惹きつけられるようなまちづくりを進めており、市民だけではなく、応援人口や周囲から来る人によってもつながりができてくると思う。</li> <li>・「トカイナカ」を売りにしている自治体もある。都会にいなくても仕事ができることで、田舎も選択肢の一つになると思う。</li> <li>・食べ物がおいしいなど、横手の良さを再確認したい。それによって、子どもが戻ってきたり、企業が進出したりすることに繋がればいい。</li> <li>・候補2の「咲く」と「田園」はつながりがあっていい。</li> <li>・将来像については、行政からのおしつけになりがちなので、強くおさなくてもいい。</li> <li>・「ふるさと」という言葉は、市街の方にも響くフレーズだと思う。</li> <li>・「希望あふれる」という言葉は市民歌にも使われている。</li> <li>・候補1の響きがいい。行政区域以外も自分のふるさとという見方もできる。横手で〇〇してみたいというのもあると思う。</li> <li>・「笑顔」という言葉は、ウェルビーイングにもつながるものであり、市長が普段話すとおり、幸せに対して日常的に感謝する心も重要だと思う。感謝するという気持ちを入れてほしい。</li> <li>・市民と共有するという意味では、覚えやすいフレーズにしたい。</li> </ul>

## 【参考】

(事務局たたき台①)

将来像 (案)	暮らしがつながる、誇りが育つ、わたしたちのまち よこて
	<p>このまちの将来像には、地域の自然や文化、人々のつながり、そして将来への希望が込められています。将来像を検討するにあたり、「自然との共生」「雪と生きる知恵」「世代をつなぐ農村コミュニティ」「健康と長寿」「地域資源を活かす循環型経済」をテーマとし、どれも一貫して、地域に根ざした生活の「つながり」や「誇り」に基づくものととらえています。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 「暮らしがつながる」 には、多様な世代や人々が支え合い、共に発展する街を目指す思いを込めています。高齢者も若者も移住者も、皆が集い、育ち、地域の歴史や文化、農林業の技術や知恵が、次世代へと継承されていく。季節の恵みや自然環境に感謝しながら、住民が地域の豊かさを一緒に育てていく様子をイメージしています。</li><li>・ 「誇りが育つ」 には、地域資源を活かし、住民がその土地に誇りを持てる取り組みが進む未来像を表しています。雪国としての知恵や自然の美しさ、農林業の技術を守り、循環型の経済を推進することで、持続可能で独自の魅力を持った地域が形成されることを目指します。住民たちが「この地域に住んでよかった」と感じ、ふるさとに誇りを持てる街に育つことが理想です。</li><li>・ 「わたしたちのまち」 では、住民一人ひとりが、この街を「自分のまち（ふるさと）」として愛着を持つことを意識しています。年齢も職業も違う人々が互いを尊重し、共に未来を創り上げる姿勢を大切にする。この言葉が、地域のすべての人に響くふるさとを目指す心を表しています。</li></ul> <p>この将来像は、地元の魅力や資源を活かしつつ、世代を超えて住民が「つながり」と「誇り」を感じられる地域づくりを象徴するものとなっています。地域の人々が未来への希望を持って暮らし、「自分のまち」として誇れる街が築かれていく、そんな理想のビジョンを描いてみました。</p>

(事務局たたき台②)

将来像 (案)	未来に向けて種をまき 笑顔が咲き続けるまち よこて
	<p>人口減少と少子高齢化の進行がもたらす弊害が、実感をともなって強く理解されるようになった今日。豊かな自然の中で豊かな心を育み、人と地域が燦いてきた横手市が、この先も魅力ある田園都市であり続けるため、私たちは未来に向けて行動を起こし続けなければなりません。</p> <p>横手市に愛着と誇りを持ちながら、市民全員が安心してこの地で暮らし続けられるよう、暮らしや仕事など、横手市にかかわるすべての方が、人々の笑顔が咲き続ける横手市の未来に向けて、種をまき続けます。</p>

(事務局たたき台③)

将来像 (案)	希望と未来を創造し 次代の道が 発展し続けるまち よこて
	<p>横手市では、これまで第1次総合計画の将来像である「豊かな自然 豊かな心 夢あふれる田園都市」を、第2次総合計画では「みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて」を目指し、まちづくりに取り組んできました。</p> <p>第2次総合計画の期間中は、世界規模の感染症拡大、国際情勢の変化による物価高騰、毎年のように続く大規模災害など 10 年前には想定できなかった事が、全国規模、世界規模で発生しました。</p> <p>また、人口減少や少子高齢化を要因とする人口構造の変化や社会ニーズも多様化し、横手市を取り巻く環境に大きな変化が生じています。</p> <p>このような状況下においても、市民一人一人が希望と生きがいをもち続け、安心して暮らすことのできるまちづくりが必要です。</p> <p>美しい自然と田園風景、やさしさの溢れる温かい人々や多くの伝統文化、こどもが伸び伸びと学べる教育環境など、全国に誇れる「よこて色」を守り、人口減少社会に対応するのではなく、横手市から人口増加社会を創り上げていく気概をもち、市民一人一人がいきいきと暮らし続けられるまちを目指します。</p>